

平成 31 年 2 月 22 日

岩国市長 福田 良彦 様

岩国市環境審議会

会長 藤野 完二



岩国市一般廃棄物処理基本計画の改定について（答申）

平成 30 年 7 月 26 日付けで諮問のありました岩国市一般廃棄物処理基本計画の改定について、当審議会で慎重に審議を行った結果、市から提示された計画案の内容で妥当であるという結論に達しましたので、答申します。

なお、計画の推進にあたり、特に別紙に記載の点について留意いただくよう、答申の付帯意見として申し述べます。

付 帯 意 見

- 1 2019年4月のサンライズクリーンセンターの本稼動に伴い、汚れの落ちにくいプラスチック類を焼却ごみに出せるようになるが、出されたごみの状況を把握し、プラスチック類のリサイクル率の低下につながらないよう留意していただきたい。

また、国が2019年6月までに策定予定の「プラスチック資源循環戦略」の方向性に沿って、プラスチックを巡る資源・環境両面の課題の解決にもつながる施策展開に努めていただきたい。

- 2 サンライズクリーンセンターは、焼却余熱を利用した発電による地球温暖化防止に寄与できる施設として有効に活用していただきたい。

また、隣接する多目的広場は災害時には災害廃棄物仮置場として使用する施設となっていることから、適切に維持管理を行っていただきたい。

- 3 大量消費、大量廃棄の現在の状況を変えていくためには、一人ひとりがライフスタイルを見直し、環境にやさしい生活をする必要がある。

そのきっかけとなるよう、本計画での重点施策「生ごみ削減のための3キリ運動」をはじめとしたごみ削減につながる効果的な施策を着実に実行していただきたい。

- 4 幅広い年代の人々に環境について意識を持ってもらうことが大切で、出前講座や施設見学など自分自身で体験していただくことが大変有効である。環境教育に取り組んでいる民間団体等とも連携し、多くの人に参加してもらえよう環境教育の充実を図っていただきたい。

- 5 近年、各地で大きな被害をもたらす災害が頻発しており、災害からの復旧・復興には災害廃棄物対策が重要である。

災害時に迅速かつ適正な対応ができるよう、2019年3月に策定される「岩国地域災害廃棄物処理計画」に沿って、実効性のある体制づくりを進めていただきたい。